


提出 順番	No. 6	平成30年 8月 27日 午前・ 午後 2時 4分
----------	----------	---

平成 30 年 8 月 27 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 中橋 友子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>「ごみは燃やさない・埋めない」限りある資源の再利用化推進を</p>	<p>十勝圏複合事務組合の一般廃棄物処理施設「くりりんセンター」の老朽化に伴い、新炉建設計画が進められています。平成 38 年度をめぐりに総事業費約 250 億円規模が想定され、正に新しいごみ処理の方向をどのように進めるか、財政負担のあり方も含め課題となっています。</p> <p>ヨーロッパでは、すでにごみを燃やさない方向が主流となっており、日本国内においても焼却せず資源として再利用する自治体が生まれ、ゼロ・ウェイスト（ゴミゼロ）宣言の自治体が広がっています。道内では富良野市が焼却施設を持たず、ごみを資源と呼び、一般廃棄物の 89.3%（平成 29 年度）が再利用されています。</p> <p>幕別町においても本年 3 月、「幕別町第 2 期ごみ処理基本計画」を策定し、廃棄物の抑制、再利用、再生利用に取り組み、循環型の社会の構築に向けたまちづくりを目指しています。しかし、資源リサイクル率の目標は、現状の 38%から平成 36 年でわずか 1%増の 39%でしかありません。</p> <p>自然環境の負荷や地球温暖化、資源の枯渇等環境破壊が大問題となっている現状から、地球を守る環境政策へ十勝全体で転換すべき時期です。そのことが新焼却施設建設の事業費削減、資源化事業の展開で雇用の場も生まれ、循環型の社会の構築になるの</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	<p>ではないでしょうか。</p> <p>以下、次の点を伺います。</p> <p>(1) 先進地に学び、ごみ資源化の促進と減量化対策を。</p> <p>①可燃ごみの種目別細分別。生ごみの堆肥化など資源化の研究は。</p> <p>②大型廃棄物の再利用の研究は。</p> <p>③ごみを作らない対策は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民への協力呼びかけは。 ・過剰包装を減らす事業所への協力の呼びかけは。 ・デポジット方式等製造者責任の追及は。 <p>④担当部署に専任職員の配置と町民を交えた検討委員会の立ち上げは。</p> <p>(2) 焼却施設改築計画における町負担の軽減に向けた検討を。</p> <p>①総予算と幕別町の負担額の見込みは。</p> <p>②構成市町村全体で資源化率を引き上げ、新焼却施設の規模縮小を呼び掛けるべきではないか。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。